

一般社団法人フウド
第6期事業報告
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1. 第6期総括

- 売上 2335 万円（前期比 6.7%増）、経常利益 191 万円（750%増）となり、会計上は前期を上回る実績となりました。ただし、前期に未収金として計上していた休眠預金事業の収入を今期売り上げに計上したことがおおきく影響しているため、実質的には前期の成績と大きく変わっていません。
- また、今期から消費税の課税対象となり、消費税が約 80 万円かかるため、その分現預金が純減することとなります。
- 人材面については、貸別荘事業を担当していた若手の正社員が3月末に退職したため、人材不足の状況にあります。
- 企業研修は少しずつ軌道に乗ってきています。しかし、企業への営業にかかるコストと案件獲得の確立が折り合わず、営業面では苦戦しており、販路開拓の方法を見直す必要があります。
- ワークーションやAT、インバウンド（スイス人旅行者）、貸別荘など観光領域の事業が伸びており、今後より顧客獲得に力をいれていきたいと思えます。
- 未来の海づくり大作戦については、子どもたちを対象にした未来の海ゴミ回収装置のアイデアコンテストを開催。258 点の作品が集まりました。そのため、それらをメイン展示とした展示会を YOUME タウン 2 階の空きテナントで開催しました。
- 貸別荘は徐々に軌道に乗ってきています。今後もこのペースで右肩上がりの実績を達成していきます。その際、ボトルネックとなるのは人材確保です。先日の通り、主担当が退職したため、当面既存のメンバーで対応していきます。
- 施設が老朽化しており、近い将来市が手放す可能性もあります。そのことを想定し、施設の存続について検討する必要があります。

2. 第6期経営方針のレビュー

■大方針「個のレベルアップと自主事業の育成」

＜評価＞

- 個別面談を積極的に行うなど、会社と従業員とのコミュニケーションの促進を図った結果、キャリアチェンジや副業への比重を増やす意向があることがわかったため、個々の意向を把握しながら適切な人員配置を検討している。
- そのため、今後は従業員の育成にかかる時間とコストについて、個々のキャリアビジョンに応じた判断が必要になる。
- 一人ひとりがプロジェクトを回していけるように裁量を持たせることはできたが、個人の能力や資質に応じたフォローが想定以上に必要であった。
- 自主事業としては、企業研修、貸別荘、インバウンド分野が成長傾向にある。

<課題>

- 会社と従業員とのコミュニケーションはより一層積極的に行うことが重要である。そのためには、代表理事が時間的余裕を持つこと、または外部人材にメンタリングしてもらうことが必要である。
- 従業員の今後のキャリア意向を定期的に確認し、必要に応じて人員配置や増強を行うなど、持続可能な人材マネジメント戦略を遂行していく必要がある。
- 来期より正社員が1人減り、残りの正社員もフルタイムではなくなることから、リソース不足になる可能性が高いため、将来的に組織を担っていく人材の確保と育成に着手することが重要である。

■個別方針

① 一人ひとりのレベルアップ

- ✓ 従業員一人一人の目標の明確化
 - 個別の目標シートを設けたが定期的な検証が不足しがち
- ✓ 従業員の研鑽機会の推進（資格取得、社外研修、視察等）
 - 十分な研鑽機会を確保するだけの時間と予算の確保ができなかった。
 - 今後は、個々の成長意欲とエンゲージメントに応じて判断する。
- ✓ 担当業務の裁量権付与と責任感の醸成
 - 積極的に試みたが、想定以上にフォローが必要であった。
- ✓ 組織経営（コスト感覚等）の知識のインプット
 - 一定程度情報を伝えることはできた。
- ✓ 社内研修の実施
 - チームビルディングを優先的に実施した。
- ✓ 管理者と従業員間のコミュニケーション機会増（1on1 など）
 - 個別面談を積極的に行ったが、より一層のコミュニケーションが必要。

② 自主事業の育成

- ✓ 人材育成事業の事業化・営業促進
 - 一定の成果は出ているが、想定よりも伸び悩んでいる。
- ✓ 江田島で一番の旅行業実績
 - 江田島市内事業者の中では旅行業実績トップ
- ✓ 海事業のプロジェクト化
 - 海ゴミをテーマとしてコンテストと展示会を開催
 - 県を通じて環境省の事業を受けた
- ✓ 新規ストック型事業の開拓
 - 未着手
- ✓ 業務の選択と集中（必要性の低い案件の断捨離）
 - あまり実行できず

③ コンプライアンス

- ✓ 各種規定の確認と改善
 - 一定程度整備できている。
- ✓ デジタル化等による業務改善（勤怠管理、給与管理、契約事務等）
 - ツールも取り入れながら実施している。
- ✓ 法務対策（契約書関連）
 - 未着手

④ 広報

- ✓ ホームページのリニューアル
 - 未着手。リソース不足。
- ✓ 団体紹介パンフレットの新規作成
 - 未着手。リソース不足。
- ✓ SNS の適切な運用
 - 試行錯誤しながら実行中。
- ✓ オリジナルグッズ製作
 - 未着手。

3. 事業内容

3－1．地域内外の人々の交流を育む事業（定款 3 条の（1））

① コミュニティスペースフウドの運営

前期に引き続き、江田島市移住交流拠点施設「コミュニティスペース フウド」の運営業務を江田島市から委託を受け実施しました。特に大きな変化はありませんが、施設の老朽化による破損や設備類の故障が懸念されます。（2024 年 6 月現在、地下に埋設されたガスパイプの損壊（修復のめど立たず）、以前修復した軒天の雨漏りによる再破損など）

（年間利用者数 2,218 人、うちイベント参加者延べ 667 人）

② サテライトオフィス誘致事業

首都圏等の企業のオフィスを江田島市に誘致することを目的としたサテライトオフィス誘致事業を当期も江田島市より受託しました。個別企業の視察対応を行うとともに、広島県と共同で視察ツアーも開催しました。オフィス誘致市場の需要は以前に比べて縮小しているように見受けられますが、本事業を通じてつながった企業様とはその後も別事業をご一緒したりワーケーションとして受け入れるなど関係性も続いている事案もあるため、これからも臨機応変に対応していきます。

③ ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト地域コーディネート事業

広島県が主催する「ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト 2023」の地域コーディネーター兼地域事業者として、地域プレゼンテーション、現地実習の企画コーディネート、参加プレイヤーが企画するプランのアドバイスなどを行いました。事業の成果として、2024 年 2 月に三高港ターミナルでイベント「[ETAJIMA NIGHT MARKET](#)」を開催しました。

④ 元気里山交流プロジェクト

広島県が主催する交流イベントの江田島開催のコーディネーターとして企画に関わり、約 100 人の参加者を受け入れました。3 グループに分かれて島内のステークホルダーを視察したのち、大柿市民センターでワークショップを行いました。

3-2. 地域の風土を生かした観光事業（定款 3 条の（2））

① 富士通社ワーケーション

江田島市とワーケーション協定を締結した富士通(株)のワーケーションツアーの企画催行を行いました。6 名の同社社員が 3 泊 4 日で訪れ、日中は各自の作業を行い朝や夕方、中日は日中も島の体験プログラムを実施。地元の人たちとの交流会も行いました。実施後のフィードバック会も行い、概ね高評価をいただきました。

② 教育旅行の受入

前期まで JTB 広島支店が主催しており、今期から(株)PLAY SPACE 社に移行した「ピースクエスト」。今期は近大附属東広島校の 1 校にとどまりました。今後は「観光人クエスト」と商品名を改め、全国の学校を広島へ誘致する流れになるようです。

また、女学院高等学校の生徒たちによって企画された修学旅行プログラムが観光甲子園の準グランプリを受賞したことで、JTB 広島支店が実際の商品として造成し、モニターツアーを実施しました。今後本商品が JTB を通じて全国で販売されていくようです。

③ アドベンチャーツーリズム

前期から引き続き、広島市内の観光事業者と連携してアドベンチャーツーリズムのモニターツアーを実施するなど事業化に取り組みました。当期は「一般社団法人 HIROSHIMA ADVENTURE TRAVEL」を設立し、フウド代表理事の後藤が当団体の理事に就任しました。

④ スイス人ツアー（インバウンド）

コロナ前に受け入れを行っていたスイス人ツアーが再開しました。10,11,12 月と 3 回にわたり来訪いただきました。

⑤ 貸別荘事業

貸別荘「[コテージセトロ](#)」を本格的に運用し始めました。OTA からの流入も軌道に乗り始め、貸別荘事業として一定の売上実績もあがってきました。一方で、清掃やリネンなどにかかるオペレーションの効率化が難しく、人件費コストの負担が大きくなっています。

今期いっぱい主担当が退職するため、新しい体制での運営をどうしていくかが課題となります。

3－3．地域への移住、定住の促進に関する事業（定款3条の（3））

① 移住支援・空き家案内事業

江田島市からの業務委託として、移住希望者の相談対応及び空き家バンクの物件案内を実施。

移住相談・空き家案内については、対応件数 119 件（うち空き家案内 97 件）、成約件数は 32 件、移住者は 27 世帯 51 名と、昨年度よりは減少傾向にありますが、以前コロナ前よりも高水準です。時期によって件数に波があり、また予約も直前に入ってくるため、リソースの分散が難しい状況にあります。

② 江田島暮らしイメージツアー

新たな取り組みとして江田島市での暮らしをイメージするための日帰りツアーを江田島市と一緒に企画催行しました。7 組 14 名の参加があり、そのうち 2 組が江田島市に移住するという成果が生まれました。

3－4．地域の産業創出に関する事業（定款3条の（4））

特になし

3－5．地域の自然・環境保全に関する事業（定款3条の（5））

① えたじま未来の海づくり大作戦

江田島市の子どもたちを対象に、「未来の海ゴミ回収装置わくわく大作戦」と題し、未来の海ゴミ回収装置のアイデアコンテストを実施しました。その結果、258 点の作品が集まりました。

そして、11 月には YOUME タウン江田島店の 2 階のテナントスペースをお借りし、海をテーマにした企画展を 1 か月間開催しました。開会式と先述のコンテストの表彰式も行い、江田島市長をはじめ多くの関係者の方々にご来場いただきました。（本事業については広島県を通じて環境省の「ローカルブルーオーシャン事業」の採択を受けて実施しています。）

藻場再生活動については、先進的な取り組みを行っている岡山県備前市日生に視察にいったり、広島県水産海洋技術センターの技術者の方に指導を受けるなどインプットに注力しました。

3－6．地域の風土を生かした農林水産業（定款3条の（6））

（実績なし）

3－7．地域の風土を生かした商品の企画、製造、販売に関する事業（定款3条の（7））

① 特産品等販売事業

前期に引き続きコミュニティスペースフードにおいて、地域の特産品の物販事業を実施しました。スペースも限られているため、日ごろ付き合いのある事業者やフードとしておススメすべき商品を厳選して販売しています。

3－8．地域の振興に関する調査研究事業（定款3条の（8））

① 江田島市第三次総合計画におけるヒアリング業務

江田島市の次期総合計画策定のための調査の一環として、江田島市内の関係団体へのヒアリング調査を実施しました。

3－9．人材育成に関する事業（定款3条の（9））

① [ETAIMA VISIONARIES CAMP](#)

企業向けの研修サービスとして、3社（売上計150万円）の受け入れを実施しました。受注目筋だった大口案件の失注が大きな損害となりました。その後も営業に力を入れてきましたが、担当者レベルでは合意を図れても社内で稟議を進める中で承認が得られる受注に至らないケースもあり、営業コストもかさみました。今後は、ある程度受注見込みの高いチャネルを開拓するか、裁量権のある担当者や経営者と一緒に企画する共創型、あるいはソーシャルイノベーションをテーマに構成される組織 SIGN（叡啓大学早田教授主宰）を通じてサービス開発をするなどの戦略で案件獲得につなげます。

② 教育旅行の受入

（再掲）前述の通り。

③ こどもテックキャラバン（旧ロボサバ）

株式会社オープンアップグループが主催する子どもたちのロボットプログラミングと自然体験を育むプロジェクト。江田島開催に関する企画調整及び受け入れを行いました。今期は夏と秋の2回の開催となり、夏はSUP、秋はオリーブを体験コンテンツとしてコーディネートしました。

④ 広島市立大学講義及び視察対応

広島市立大学の平尾講師が担当する講義の講師として登壇しました。また、学生有志が地域の現場で学ぶ「リーダーシップ育成塾」の視察受入を行いました。

3－10．文化・芸術・スポーツの振興に関する事業（定款3条の（10））

（実績なし）

3－11．青少年の育成に関する事業（定款3条の（11））

① 教育旅行の受入

（再掲）前述の通り。

② 出前授業

江田島市立三高小学校、能美中学校への出前授業を行いました。

3－12．生涯学習に関する事業（定款3条の（12））

（実績なし）

3－13．情報発信に関する事業（定款3条の（13））

（実績なし）

3－14．国際交流に関する事業（定款3条の（14））

（実績なし）

3－15．地域の社会福祉に関する事業（定款3条の（15））

（実績なし）

3－16．災害支援に関する事業（定款3条の（16））

（実績なし）

3－17．旅行業法に基づく旅行業（定款3条の（17））

（前述のツアーや社員研修が該当）

3－18．リサイクル及び古物営業法に基づく古物の売買（定款3条の（18））

（実績なし）

3－19．前各号に附帯又は関連する事業（定款3条の（19））

① 新電力代理販売事業

前期に引き続き取り組みましたが、営業に十分なリソースを避けて大きな成果はありませんでした。

4. 事業別収支

(別紙参照)

5. その他報告事項

(1) 社員及び役員の変更について

⑤ 社員数：2名（増減なし）

⑥ 役員：変更なし

(2) 退職者について

正社員1名が3月末をもって退職しました。

(3) インターンシップ受入

修道大学のインターンシップ生を受け入れました。また、修道大学が取り組む地域づくりスタートアッププログラムのグループを受入れ、活動をサポートしました。

6. 第6期の行事一覧

日付	種別	内容
5/1	広報・メディア	広報えたじま 移住の記事
5/29～30	研修	合同企業研修（デリカウイング、サタケ）
6/1	広報・メディア	中国新聞掲載 「移住者数増加」
6/1	広報・メディア	しおかぜ通信 地域サロン・節句行事
6/1	広報・メディア	広報えたじま 環境シンポジウム宣伝／移住者交流 DAY 宣伝
6/3	その他	ロボサバ in 江田島
6/6～9	研修	富士通ワーケーション 受入
6/8	フウド	ナイトフウドヨガ
6/10	海洋保全／フウド	環境シンポジウム 登壇
6/13～14	研修	女性管理職向け研修（アリコさんプログラム）
6/15～22	その他	アーティストインレジデンス（長沼慧さん）
6/15	フウド	Etajima Meet Up vol.1
6/17	フウド	移住者交流 DAY2023
6/21	フウド	地域サロン 開催
6/22	フウド	ナイトフウドヨガ
6/24	その他	ロボサバ in 広島（プラごみでキーホルダーを作ろう）
6/28	海洋保全	三高小学校ワークショップ
7/4～5	その他	tokidoki 社 来島（エミーウォッシュ）
7/14	広報・メディア	ENJIN 開催記事（PR TIMES）
7/18	後藤	ひろしまをつなげる 30 人 参加
7/19	フウド	地域サロン 盆踊り
7/19	広報・メディア	Twitter 開設
7/19・20	その他	社内研修 アプライトネス平岩さん来島
7/21	フウド	江田島市小中教頭先生の会 意見交換会
7/21・22	研修	中電技術コンサルタント労働組合 受入
7/23	移住定住	江田島暮らしイメージツアー 開催
7/29	広報・メディア	note 開設
7/29	フウド	こばゆか シュラスコ
7/29～30	研修	ENJIN 開催（アトモニ社共催）

7/31	広報・メディア	中国新聞掲載 「ワーケーション 自由に豊かに」
8/1	広報・メディア	社協だより掲載 「流しそうめんイベント」
8/19	海洋保全	海ッション・インポッシブル（江田島海岸清掃）
8/24	フウド	フウドヨガ
8/27	海洋保全	海ッション・インポッシブル（オブジェ制作）
8/30	フウド	令和5年度広島県パッケージ型インターンシップ 受入
9/2	フウド	フードマルシェ ケンティ来島
9/2	移住定住	移住フェア
9/3	フウド	江田島芸術祭 開始
9/6	海洋保全	海ごみ回収装置 出前授業 in 大柿高校
9/7	フウド	Etajima Meet Up vol.2
9/13	海洋保全	三高小 出前授業
9/14	海洋保全	市長訪問 アイデアコンテスト
9/16～18	研修	ひろしま里山ウェーブ現地実習 受入
9/20	フウド	地域サロン
9/20～21	観光	アドベンチャーツアー（モニター）
9/23	地域事業	さとやま元気交流会
9/30	広報・メディア	RCC ラジオ サタデー・ピットイン 1/2
10/1	広報・メディア	広報えたじま 「空き家のしまい方・活かし方」
10/3	観光	アドベンチャーツアー（モニター）
10/5～7	観光	スイス人ツアー受入
10/7	広報・メディア	RCC ラジオ サタデー・ピットイン 2/2
10/12	フウド	ナイトフウドヨガ
10/12～13	企業誘致	企業視察ツアー
10/14	フウド	風海土祭 6周年イベント
10/17	広報・メディア	RCC イマナマ 取材対応（移住者増について）
10/18	フウド	地域サロン
10/18	フウド	鹿川小学校4年 施設見学
10/21	その他	市内中高生対象総合計画ワークショップ

11/1	海洋保全活動	えたじま未来の海づくり展 オープニングセレモニー
11/6	観光	スイス人ツアー受入
11/6～8	その他	AT 野外研修（ウイルダネスファーストエイド） 参加
11/7	フウド	三朝町商工会 視察
11/15	海洋保全活動	三高小 出前授業
11/16	海洋保全活動	ビーチクリーン 江能分級
11/18	フウド	竹の会 えも博
11/18	フウド	三豊市 まちづくり団体 視察受け入れ
11/20	移住定住	広島市立大学 講義
11/21	フウド	スクール S 受入
11/22	フウド	広島市中区コミュニティ協議会 視察受け入れ
11/23	その他	こどもテックキャラバン 江田島会場開催
11/24	フウド	世羅町役場 視察受け入れ
11/24	フウド	ナイトフウドヨガ
11/26	海洋保全活動	えたじま未来の海づくり展 表彰式
11/28	地域事業	大古小学校 出前授業
12/1	地域事業	能美中学校 キャリア学習発表会
12/2	その他	こどもテックキャラバン 大会
12/9	観光	テントサウナ（えもはく）
12/10-12	観光	スイス人ツアー受け入れ
12/12	海洋保全活動	海するワークショップ
12/13	地域事業	大古小学校出前授業
12/16	研修事業	広島市立大学 市大塾受け入れ
12/20	フウド	地域サロン 開催（沖美市民センター）
1/12	地域事業	大古小学校出前授業
1/17	フウド	地域サロン 開催（沖美市民センター）
1/19	観光	JTB 女学院高校モニターツアー
1/23	広報・メディア	JTB 女学院高校モニターツアー TSS 放送
2/10	地域事業	里山ウェーブ 最終プレゼン
2/11	地域事業	ETAJIMA NIGHT MARKET 開催
2/21	フウド	地域サロン 開催
2/22	フウド	ナイトフウドヨガ

2/28	地域事業	大古小学校出前授業
3/2	フード	ブラジル帰国報告会 こばゆか
3/6	観光	ピースクエスト 近大付属東広島（高1）
3/9	その他	地方創生カンファレンス vol.01 参加
3/13	フード	地域サロン 開催
3/27	フード	定住協会議
3/31	観光	スイス人ツアー